

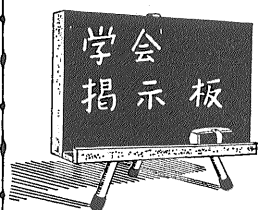
小笠原諸島や南西諸島の震央分布地域が前者では地形的な高まりに 後者では東シナ海と琉球海溝とに挟まれた複雑な地形部に限られる事実は 現在の地震活動がその直接上方の地殻表面の隆起沈降運動と密接に関係していることを示すものと思われる。日本海北部の海底平坦面の地震活動についても同様である。

逆に固有の震源分布をもつ地域は そこで何らかの地殻表面の造構運動が行なわれているに違いない。この意味では 北海道から東北日本沖合にかけての震央密集地域や 紀伊半島から四国沖にかけての地域と九州沖合の震央密集地域では 活発な造構運動が行なわれているに違いない。これらの地域は隆起運動を行なっている

とは考えられないから 活発な沈降運動が行なわれている 厚い堆積物が沈積しているものと予想される。

以上述べてきた事実から次のようなことが考えられるであらう。造構運動は その運動の行なわれている直接下方の地殻からマントルにかけての物理化学的变化過程による。というのはそのような場が周囲とはあるていど独立していて 水平方向での物質の出入は余り考えられないから。したがって隆起地域ではその下方で容積の増加するような過程が 一方沈降地域では 容積の減少するような過程が起こっているのではないだろうか。

(筆者は燃料部)



・日本写真測量学会

1. 昭和42年5月20日(土)
2. 通常総会と年次講演会
3. 東京大学生産技術研究所中央講堂(港区麻布新電土町10)
4. 日本写真測量学会
5. 東京都港区麻布新電土町10

東京大学生産技術研究所第5部丸安研究室  
Tel. 東京(03)402-6231

4. 物理探鉱技術協会・国立科学博物館共催

5. 神奈川県川崎市久本 135  
地質調査所物理探査部内 Tel. (044)83-3171

・地学団体研究会

1. 昭和42年5月3日(水)~5日(金)
2. 地学団体研究会第21回総会
3. 東京教育大学G館(文京区大塚窪町24)
4. 地学団体研究会
5. 東京都豊島区南池袋2-32-12

地学団体研究会事務局

Tel. 東京(03)983-3378

・第4回理工学における同位元素研究発表会

1. 昭和42年4月18日(火)-20日(木)
2. 第4回理工学における同位元素研究発表会
3. 国立教育会館(千代田区霞ヶ関2-4)
4. 日本地質学会等43学・協会共同主催
5. 東京都文京区本駒込2丁目28番45号  
日本放射性同位元素協会内 理工学における同位元素研究発表会運営委員会

Tel. 東京(03)946-7111

・石油技術協会

1. 昭和42年5月24日(火)~27日(土)
2. 石油技術協会第32回通常総会
3. 日本都市センターホール(千代田区平河町2-6)
4. 石油技術協会
5. 東京都千代田区大手町1-5

石油鉱業連盟内 Tel. 東京(03)279-5841

・日本第四紀学会

1. 昭和42年4月22日(土) 1300~1700
2. 第四紀年代測定シンポジウム
3. 東京大学理学部地理学教室講義室
- 4.5. 東京都文京区 東京大学理学部地理学教室

日本第四紀学会

・日本鉱物学会

1. 昭和42年5月31日(水)~6月2日(金)
2. 日本鉱物学会年会および総会
3. 国立科学博物館(台東区上野公園)
4. 日本鉱物学会
5. 東京都台東区上野公園

国立科学博物館 地学研究部 地学第II研究室

Tel. 東京(03)822-6111 内58

・石油学会

1. 昭和42年4月25日(火)12.10
2. 第8回通常総会ならびに第10回年会
3. 日本化学会講堂(千代田区神田駿河台1-5)
4. 石油学会
5. 東京都千代田区丸の内3の4 日石ビル内  
石油学会事務局 Tel. 東京(03)211-4508

・石膏石灰学会

1. 昭和42年6月2日(金)
2. 第18回総会および第35回学術講演会
3. 葛生会館(栃木県葛生町)
4. 石膏石灰学会
5. 東京都千代田区神田駿河台1-8

日本大学理工学部大学院内 石膏石灰学会

Tel. 東京(03)293-3251(内線359)

・物理探鉱技術協会

1. 昭和42年4月26日(水)~27日(木)
2. 物理探鉱技術協会講演会および総会
3. 国立科学博物館(東京都台東区上野公園)

[注] 1. 開催年月日 2. 会合名 3. 会場  
4. 主催者 5. 連絡先 (掲載順位は原稿到着順)